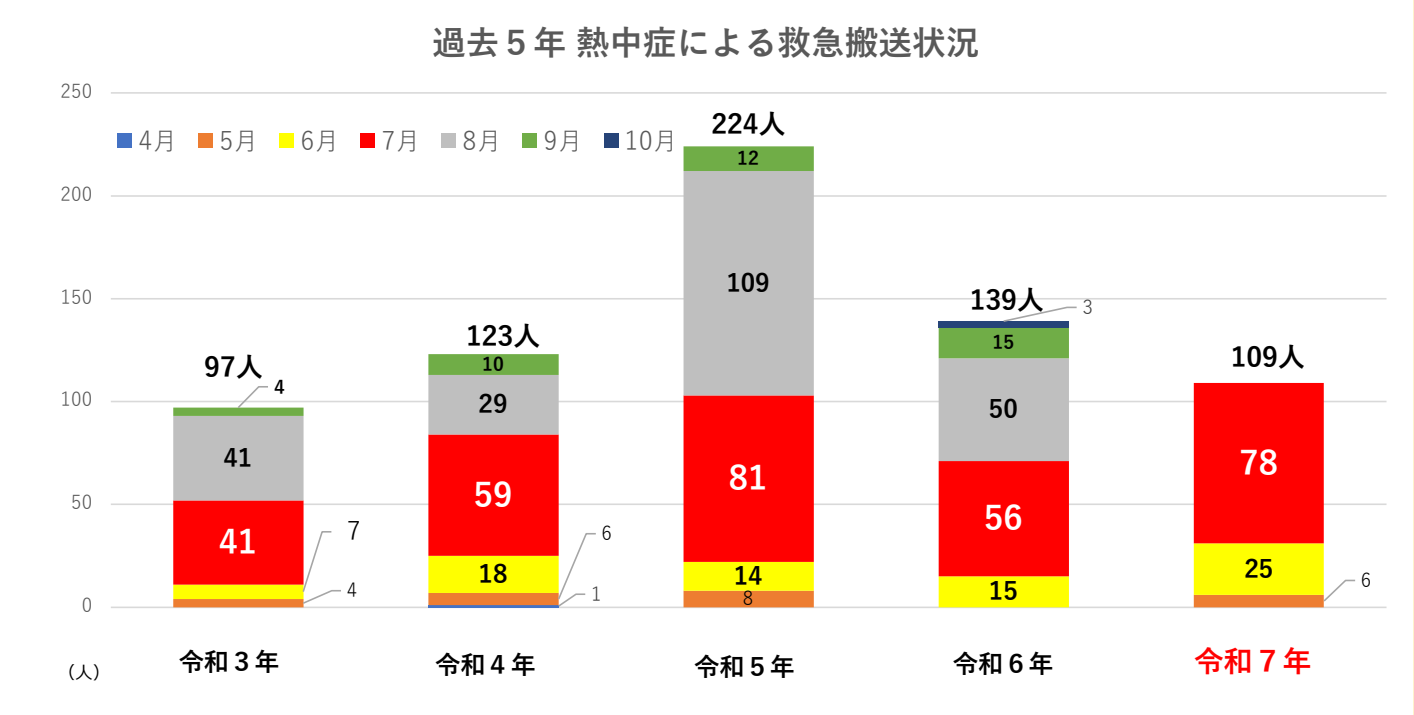
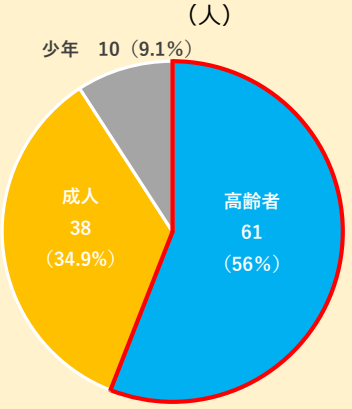
令和７年中(４月１日～７月３１日)
大崎管内における熱中症搬送状況について



６月は調査以来，過去最多の搬送者数となり，また7月末時点で過去最多ペースで推移しています。
要因として，平年より早い梅雨明けと連日３０度超えの暑さが続いたことが考えられます。
今後も３０度超えの暑さが予想されているため厳重な注意が必要です。

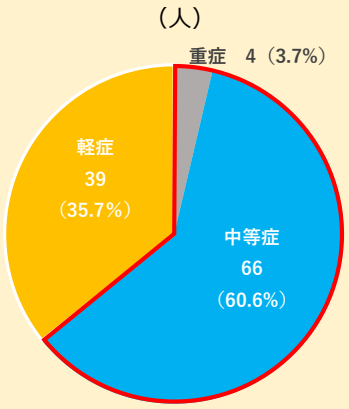
熱中症で救急搬送された１０９人の内訳

年齢区分別（構成比）



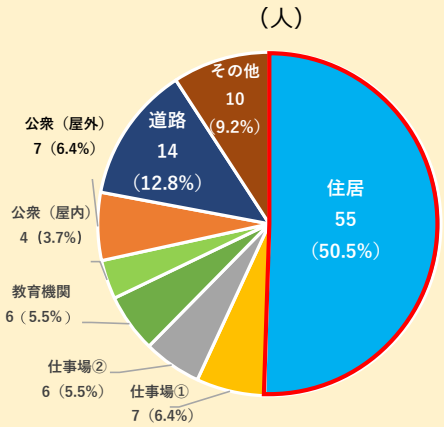
乳幼児：生後28日以上満7歳未満
少年　：満7歳以上満18歳未満
成人　：満18歳以上満65歳未満
高齢者：満65歳以上

初診時における傷病程度別（構成比）



軽症　：入院加療を要しない程度（外来診療）
中等症：重症又は軽症以外の程度（入院加療）
重症　：3週間以上の入院加療を必要とする程度
死亡　：初診時において死亡が確認されたもの

発生場所別（構成比）



住居　　：敷地内全ての場所を含む
仕事場①　：道路工事現場，工場，作業所等
仕事場②　：田畑，森林，海，川等
教育機関　：幼稚園，保育園，小学校，中学校，高等学校，専門学校，大学等
公衆(屋内)：不特定者が出入りする場所の屋内部分
公衆(屋外)：不特定者が出入りする場所の屋外部分
道路　　：一般道路，歩道，有料道路，高速道路等
その他　　：上記に該当しない項目

- 年齢区分別では高齢者が約6割を占めており，傷病程度別では入院加療が必要な中等症以上の方が３分の２を占めています。
- 発生場所別では，住居（敷地内すべての場所を含む）が約半数を占めています。
- 特に高齢者の熱中症対策として，エアコンを上手に使うこと，小まめな水分補給また家族や介護の方など周囲の人が見守りや声がけをすることが大切になってきます。

大崎地域広域行政事務組合消防本部警防課